

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興事業  
〈高齢者、障がい者の通院・買い物支援事業〉

# 外出支援 サービス

2016 年事業報告書



通院

買物



特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業  
高齢者、障がい者の通院・買い物支援事業

目 次

2016年度の活動を終えて	1
1. 地域の現状	2
2. 外出支援（通院・買い物）サービス事業	2
1) 事業の目的	
2) 事業の沿革	
3. 通院サポート事業	3
1) 事業の概要	
2) 利用状況	4
3) 運転担当者について	6
4) 今後の課題	7
4. 買い物サポート事業	8
1) 事業の概要	
2) 利用状況	9
3) 運転担当者について	10
4) 今後の課題	12
5. 外出支援（通院・買い物）サービス 事業説明会・講習会	13
6. 福祉有償運送事業への課題	13

特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会 団体沿革

静岡市駿河区丸子地域には自治会連合会、老人クラブ連合会、地区社協、民児協、PTA、体育振興会、朝市の会等々各種団体があり、それぞれがすばらしい活動をしています。しかし、それは単体の組織中心だけの活動で、他の団体等との横の連携がないために、何か歯車がかみ合わず効果的な成果が得られていないと感じられていました。

こうした状況の2010年9月、小学校のPTA役員から「役員の任期が終われば優秀な人材もまったく地域との関係がなくなってしまう非常にもったいない。この人材を何とか地域で活用できないだろうか。」との提案がありました。この提案についてその後7ヶ月間の協議がスタートしました。

話し合いを重ねるうちに、地域コミュニティーが確立できていない事への不安は委員の共通認識であることがわかると共に、組織の連携のみならず環境、観光、防災などもっと幅広い視点を持った地域活動となる「協議会」の設立をめざすことになりました。

長田西自治会連合会の単位自治会会長の集まりである理事会に協議会の設立を提案し、86の団体から賛同を受けスタートすることになりました。

そして、2011年4月、「丸子を自分たちで住みやすい、良いまちにつくろう」をスローガンに「丸子まちづくり協議会」が設立され、2016年1月には、「特定非営活動法人」の認定を受けました。

## — 2016年度の活動を終えて —

2016年度は、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成を受けて、通院支援と買い物支援サービス事業が実施できたことは、丸子まちづくり協議会の活動目的のひとつでもある「高齢者が地域で安心して生活できる環境」に一歩前進できました。

特に、高齢化の加速により、通院支援サービスの需要は増え続けるという状況の中で、福祉車両が1台から2台体制になったことは、事業を始めた時には想定も出来ませんでした。

買い物支援については、2012年の「地域福祉懇談会」の中で提案され検討を重ねてきましたがなかなか実現できずにいました。

「地域の高齢者施設の送迎用の車が日中空いているので、借りて買い物支援が出来ないか？」という声があがり、施設関係者との検討を重ね、様々な問題に苦慮していた折り、WAMの助成認定を受けることができ、思いもよらず早く実現できたサービスでした。

2016年度にこれらの事業を拡大し進めることができたことは、「認定NPO法人丸子まちづくり協議会」の活動が地域内外に認知され、今後の地域での活動に力強い活力を生み出したと感じています。

現在、全国的に高齢者の交通事故が多発している中、免許の返上が叫ばれていますが、外出支援サービスが利用できることになり、免許証を返上した人も出てきました。

更に、独居、老々介護の家庭環境を知り得ることができ、生活の中でどんな困りごとがあるのか把握し、それにうまく対応できたという新たな成果も出始めています。

本事業は、ただ単に外出を支援するという事業にとどまらず、地域包括センターと共に地域での高齢者、障がい者に関する情報収集と必要とされるサービスへの対応窓口のようなセンター的役割をも担えるのではないかと考えられます。

最後になりましたが、今回の外出支援サービス事業に賛同し、連携して活動いただいた以下の団体及び独立行政法人福祉医療機構に感謝申し上げます。

特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会  
理事長 村松勝美

連携団体

社会福祉法人静和会 特別養護老人ホーム丸子の里

有限会社生陽会

NPO法人高齢者リフレッシュセンター スリーエスリー A 予防介護サービス折り梅

介護老人保健施設かりん

静岡市長田西地区民生委員・児童委員協議会

静岡市長田西地区社会福祉推進協議会

長田西自治会連合会

## 1. 地域の現状 (丸子＝静岡市駿河区長田西小学校区の通称)

当協議会の活動地域は、西は藤枝市と隣接し、三方を山に囲まれ、唯一の幹線道路である国道一号線に沿って東西 7km と横に長く広がる地域に約 6,000 世帯、約 14,000 人が居住しています。高齢化率は 31.9%、(静岡市駿河区内で 2 番目に高い) 高齢者の一人暮らし及び高齢者二世帯は、2015 年度には 300 世帯に達しています。中でも、北と南から山が迫っている西側地域に過疎地域が集中していて、唯一の公共交通機関であるバスも停留所まで遠く、外出に困難な状況があります。

丸子（長田西学区）俯瞰図 (赤線の地域)



## 2. 外出支援（通院・買い物）サービス事業

### 1) 事業の目的

公共交通機関による移動が難しい高齢者、障がい者が社会からの孤立することなく地域で安心して生活できること、家族の経済的、肉体的負担軽減を目的にしています。

### 2) 事業の沿革

41 自治会を対象に、地区社協及び民生委員が中心となって、通院や買い物サポートのニーズ調査を実施したところ、潜在利用希望者は 250 名に上がっていることがわかりました。

協議会では、2012 年に 1 台の福祉車両を購入し、地域で運転ボランティアを募集し、外出支援サービスを無償で実施してきました。

2015 年度になると利用者も増え、午前午後あわせて 4 か所～5 か所の病院への送迎という日もあり、1 車両での対応が難しくなってきました。時には、ボランティアの自家用車を利用することもあり、1 年間の送迎は 260 箇所を上り、様々な無理が生じてきました。

2016 年度は、独立行政法人福祉医療機構 (WAM) の社会福祉振興助成事業に認定されたので、福祉車両を 1 台増やし (リース)、2 台体制がかない、運転者負担軽減と利用者増が図られました。

また、要望があっても定期実施が難しかった「買い物サポート事業」は、レンタカーを活用し開始することができました。

両サポート事業の運転ボランティアに対しては、安全な運行と利用者への適切な対応をめざし、研修会を開催しました。

今後は、更に事業実績と経験を積みあげ、有償運送の認可への道筋を作っていくことをめざしています。

### 3. 通院サポート事業

#### 1) 事業の概要

「ちゃー丸1号」、「ちゃー丸2号」と名付けられた車イスのまま利用できる福祉車両が運行します。

##### <利用対象者>

- ・特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会の会員（丸子在住者は原則利用可）で、介護（要介護、要支援）認定者及び理事長が必要と認めた場合



ちゃー丸くん  
丸子まちづくり協議会の  
マスコットキャラクター

##### <利用までの手順>

- ①利用要項を確認の上、利用者登録票を提出し利用登録をします。
- ②利用相談・予約  
事務局に連絡し、利用説明の日程を調整します。ご希望の日時に係員が訪問し、利用希望日時や目的地の相談・予約申し込みを受け付けます。

##### <利用規定> ※一部

- ①通院を目的とし、原則月2回まで利用できます。
- ②利用は、原則土日祝日を除き9時から17時までとします。
- ③予約は利用日の原則1か月前までですが、それ以降でも空きがあれば状況によっては受け付けます。
- ④できるだけ、介助者1名が乗車して下さい。
- ⑤利用区間は、自宅などから病院等医療機関を原則とします。



福祉車両「ちゃー丸号」

#### 2) 利用状況

2016年度は、独立行政法人医療福祉機構の助成事業に認定されたことにより福祉車両（リース）を1台増やし、協議会所有の福祉車両の2台体制で利用者に対応することができるようになりました。昨年度の利用者は、25名でしたが、今年度は42名の方に利用者していただくことができました。

尚、残念ながら年度中に2名が亡くなられ、4名が入院し利用を休止しています。

##### ① 福祉車両「ちゃー丸号」の稼働状況

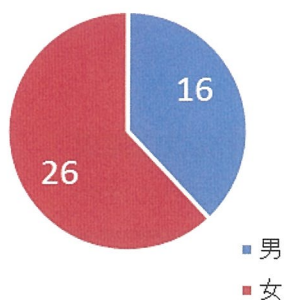
※ 8月2日より2台体制

※ 稼働とは、一旦出発して帰ってくるまで。1稼働で2カ所以上の場合もある。

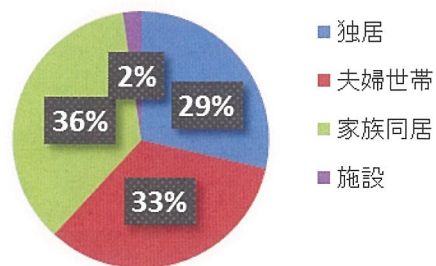
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
稼働日数	16	11	13	13	17	16	21	21	20	18	20	186
稼働回数	18	15	22	19	30	31	49	70	60	54	52	420
稼働時間	63	36	54	68	80	104	120	153	150	124	99	1051

## ② 利用者の状況

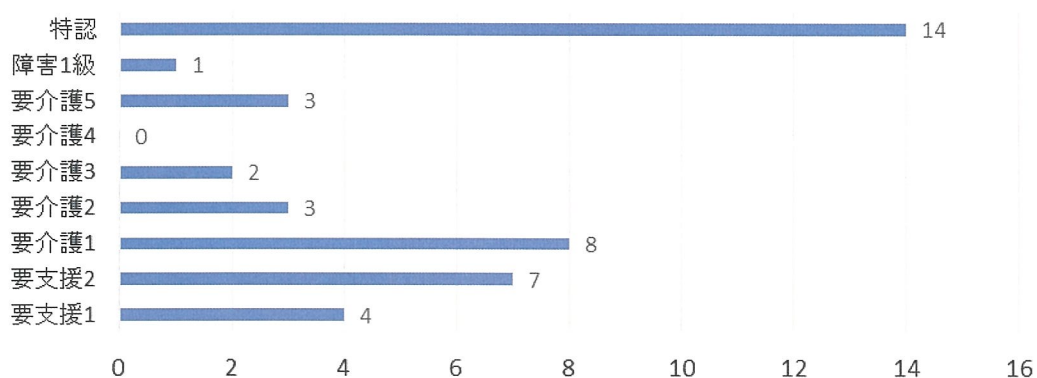
利用者人数



家族構成等



利用者の状況



※ 利用者の受け入れは、(月)～(土) 時間は9:00～17:00

※ 上図、「特認」とは、介護認定はないが、杖、手押し車等を必要とする人を協議会が特別に認定

## ③ 利用者の行先分布



- 静岡市中心市街地
- 丸子地域

利用者の主な行先は、丸子地域から5km～10kmの静岡市街地にある、静岡市立病院、静岡赤十字病院、静岡県立総合病で、他にも地域内の個人病院等、合計28カ所に及んでいます。

#### ④ 利用者の声

##### 79才 女性（独居）

ちゃー丸号を利用出来て大変助かっています、きっかけは静岡の親戚から、「丸子では病院に送り迎えをやっているそうだから頼んでみたら？」と言われて電話したのがきっかけでした。今では毎月運転手さんがやさしく声をかけてくれて利用しています、助かっています。運転手さんありがとうございます。

##### 40才 女性（独居）

障害を持ち、車イスを利用するようになってから、外出する機会がすっかり減ってしまいました。そんな時「ちゃー丸」号と出会い、病院などに出かけることが出来るようになりました。爽やかな外な風を感じ、桜の花、紫陽花、水面に輝く水田等、四季を楽しむことが出来、体調維持には極めて効果があると実感しています。スタッフの皆さんはとても優しく、ユーモアたっぷりで行き帰りの時間が楽しく、とても助かっています。「丸子まちづくり協議会」の素晴らしい福祉サービスに大変感謝しています。

##### 77才 男性（独居）

ちゃー丸号ありがとう。

私は月、2～3回「ちゃー丸」に来て貰い通院しています、最初は車イスの人だけだと思っていましたが、歩行が大変な私なので聞いたところ「いいですよ」と言われ、来てもらっています。送迎途中でも優しく声をかけてくれるボランティアの方々、本当にありがとうございます。これからも「ちゃー丸号」の活躍を期待しています。

##### 83才 女性（独居）

ボランティアドライバーに感謝

私は83才、足の不自由な老女です。先日、民生委員さんから、丸子まちづくり協議会の福祉車両「ちゃー丸号」の紹介があり、早速利用させていただきました。運転手さんは親切で気さくな方で、私の病院の終わる時間も決まっていなのに、電話すると迎えに来てくれます、申し訳ない思いです、車両のクッションも柔らかかで座り心地満点でした。

##### 80代 女性（夫婦世帯）

「ちゃー丸くん」に感謝

月に1～2回「ちゃー丸号」に御世話になっています、夫婦2人の暮らしは、若く元気な時は何の心配もなく生活できましたが、高齢になって片方が介護を受け始めると、病院へ行くのにも大変な苦勞をすることになりました。そんな時に紹介していただいた「ちゃー丸号」に、今大変お世話になっています、運転手さんの気配り、地域の皆さんの温かい心遣いに、感謝の毎日です。本当にありがとうございます。

##### 70代 夫婦（夫婦世帯）

ちゃー丸号に、いつもお世話になっている者です。利用の前日には必ずお電話くださりまして、気配りの良さに感謝し、私どもも他の人に一つでもお返しが出来ればと思っています、私どもの場合は4か所ほどの病院に行く必要があり、交通費もかなりかかっていたのでとても助かっています、主治医にもこの話をしたら、とても感心していました。1月の初めには女性の方がお世話くださり、車イスの主人が重たいのに親切に気さくに話しかけていただきうれしかったです、これからもお世話になりますが、よろしくお願いします。

##### 74才 女性（家族二人）

主人が病となり13年、私がかけて8年になります、それからはタクシーで病院に出かけていました。ちゃー丸号のことを聞き、お世話になって今では本当に感謝の毎日。運転手の方々に無理なお願いをすることもあります、優しく対応して下さいます、これで良いのかいつも主人と話をしています、丸子まちづくり協議会の方々にはご苦勞かけますがよろしくお願いします。

### 3) 運転担当者について

運転担当者は、丸子まちづくり協議会の会員から募集し、現在登録者は10名（男7、女3）  
平均年齢は、68.5歳です。

#### ■ 福祉車両「ちゃーまる号」の運転担当者の仕事の流れ

(2名の利用者に対応の場合)



8:30 事務所にカギをとりに行く



車に乗って利用者宅へ



9:00 80代独居老人宅へお迎え



9:05 病院に到着



10:10 次の利用者宅へ



90代独居老人を乗せる



病院に到着 手押し車をセット



9:45 一旦帰宅 連絡を待つ



11:00 病院へお迎えに行く



11:05 自宅に到着





12:15 利用者を迎えに行く



乗車のお手伝い



自宅に入るまでサポート



駐車場に到着 運行日誌を記入



事務所に戻り、鍵を返却



12:50 お仕事終了 お疲れ様

## ■ 福祉車両「ちゃーまる号」の運転担当者の感想・意見

70代・男性

利用者本人と離れて暮らしている家族から、電話をもらった時には本当に感謝されていることを実感させられ、励みになった。

70代・男性

ちゃー丸号を利用する人、一人ひとりそれぞれ状況が違い、同じように対応することができない。初めての人を乗せることもあり、そんなときはどんな状況の人なのか心配になり、事前に直接電話して詳しく知ろうと思うと、逆に利用する人からは、自分が迷惑をかけているのかと思われているように解釈して、親切心が反対に取られたこともある、人間関係の難しさを知った。

60代・女性

女性ということで、頼みやすいということがあるのか、運転以外にも頼みごとをされることがある。どこまでのサービスなのかを運転手は共有しておく必要があると思う。

70代・男性

ちゃー丸号がないときには、この人たちはどうしていたのかと思うことがある。

## 4) 今後の課題

行政主導ではなく地域で立ち上げ6年運営してきましたが、資金面で継続が厳しくなっていた中でWAM助成事業となったことは活動への勇気を与えていただきました。今年度は、2台体制になり当然利用者は倍増しましたが、協議会の事務体制が追い付いていない部分が随所に現れる結果になりました。1カ月に一度段取りすれば、その後問題なく運行ができることはまずありません。高齢者等は体調などによって急に変更があったり、診断を受けても再診を求められたり、予定していなかった人が急に申込んだりと煩雑な事務作業が増えるようになり、適宜対応できる事務体制の整備が必要となっています。利用者はどうしても運転手へ直接の伝達が多く、事務所との行き違いも発生してきています。利便性は維持しながら、公平な利用のための利用条件や利用要項の整備と周知も今後の課題となっています。

## 4. 買い物サポート事業

### 1) 事業の概要

長田西地区（丸子）は地域を東西に貫く国道一号線から北と南に入った山あいにも過疎・高齢化集落が点在し、地域の東の平野部に集中する商店や金融機関に出かけることに年々不自由を訴える声が大きくなってきていました。

2010年と2011年に長田西地区社会福祉推進協議会が実施した「地域福祉懇談会」では、地域の課題として「買い物等の移動支援」が提起されました。

その後、「移動支援」の可能性について様々な検討を重ねる中、地域内に数か所ある高齢者福祉施設の送迎バスが日中ほとんど待機状態なので、借用して買い物等の支援が出来ないだろうかとの提案がありました。

高齢者施設と丸子まちづくり協議会で構成された検討会が行われ、様々な環境整備の課題を抱える中、WAMの助成金事業の募集があり申請をしました。そして、助成事業認定をいただくことになり懸案であった高齢者等の買い物支援サービスをスタートすることができました。

当初、移動困難者が多く住む丸子の第4地区（下図）の15自治会の内、希望のあった8町内会をこの事業の対象地域と選定しました。そして、その単位自治会の会長が高齢者を中心に声掛けをし、希望者のとりまとめを担当しました。毎月末には、運転者会議を実施し、町内会からの要望に基づき、次月の運行スケジュールを作成し、運転担当者のシフトとレンタカー（7人乗りワゴン車）の予約をしました。

7月から2月までの8か月間（土、日、祝日、年末年始、お盆等は除く）で、基本的には、週1回のペースで稼働させました。

所定の集合場所から、スーパーの駐車場までの送迎し、1時間の自由時間に買い物や用足しができるように設定しました。

#### 対象地域（第4地区）の位置



赤線 = 長田西学区の範囲

黄 = スーパーや金融機関等が集中する地域

## 2) 利用状況

### ① 買い物車両（レンタル）の稼働状況

2016 年度稼働回数 (1日2回の場合もあり)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	年度計
運行日数	3	5	2	4	5	9	9	7	44
運行回数	3	6	2	4	5	14	12	10	56
利用者数	17	19	6	11	17	42	34	25	171
走行距離	66	138	65	96	93	252	184	161	1055
平均走行距離	22	23.0	21.7	24	18.6	18.0	15.3	16.1	19.1
平均利用者	5.7	3.2	3.0	2.8	3.4	3.0	2.8	2.5	3.1

### ② 買い物車両 町内別利用状況 (2016 年度)

月 町名	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	運行回数	利用人数
赤目が谷			1	2													1	2
赤目が谷西											3	6	3	6	1	2	7	14
大鉢							1	3	2	8	2	6	2	6	2	6	9	29
御前谷									1	2	2	4	1	1	2	2	6	9
新赤目が谷	2	11	2	5					1	4	3	13	2	9	2	9	12	51
元宿											1	1	1	1	1	2	3	4
宇津ノ谷											2	5	3	9			5	14
ミドリ団地			1	1													1	1
逆川			1	4	2	6	2	6	1	5	1	5	1	5	1	3	9	34
二本松			1	1							1	2					2	3
北丸子															1	1	1	1
合計	2	11	6	13	2	6	3	9	5	19	15	42	13	37	10	25	56	162

### ③ 利用者の状況

- ・利用者は全員女性で、70代女性が中心で、80代はわずかでした。
- ・女性の場合は、誘い合って行くことが多いので、日頃から付き合いのある同世代に偏ったと思われます。買物バスが待機する1時間間の間の行先は、ほとんどがスーパーでの買い物で、銀行、郵便局の利用はあまりありませんでした。
- ・週末は、別に暮らす子供たちが食材を調達してくれるので、自治会からあがる要望は週中の水曜日に集中することが多く、要望は多いにもかかわらず、利用者が伸び悩む現実がありました。



#### ④ 買い物サービス利用者の声

※高齢者が多いため、記入式ではなく、運転担当者による聞き取り調査

##### Q. 買い物時間を1時間としたことについて

- ・全ての利用者が丁度よい時間であると回答。

##### Q. 誰と利用したか

- ・全ての人が近隣の方々と誘い合って

##### Q. このサービス(事業)をどのようにして知ったか

- ・ 配布されたリーフレットを見て
- ・ 自治会長から誘いを受けた
- ・ 町内回覧板で知った。

##### Q. 利用をしてみてどうだったか。今後もこのサービス事業を利用する気があるか

- ・ 全員が利用し、存続を希望。

##### Q. 今後の利用増の対応について

- ・ 全員が機会あるごとに近所の人を誘っていく。

##### Q. このような事業を継続するには費用負担が必要となるがどう思うか。

- ・ 全員が負担は当然であるとの回答。

また、負担額は、全員が300円～500円の間くらいの設定が妥当との回答  
(最寄りからの路線バス代が往復540円から400円の距離であるため、この金額の範囲を希望する利用者が多いと思われる。)

##### Q. その他の意見は

- ・ スタッフ(運転ボランティア)の対応が親切丁寧である。
- ・ 毎週(町内の希望優先)のことで助かっている。
- ・ 気持ちよく買い物が出来て皆大変喜んでいいる。
- ・ もう少し遠くまで連れて行って欲ければよりうれしい。

##### □ 自治会長からの意見

- ・ 思った以上に買い物等に不便を感じている人達がいた。
- ・ 今以上に高齢化が進んだ場合、車両の維持等どのように考えるのか、又、利用者が増えていったらどうするのか不安になった。
- ・ 予定日や時間に、配車されないことがあった。(再確認の不足)



### 3) 運転担当者について

運転担当者は、丸子まちづくり協議会の会員を中心に募集し、11名(男のみ)で、ローテーションを組んで実施しました。11名の平均年齢は、69.25歳です。

## ■ 買い物車両 運転担当者の仕事の流れ (レンタカー対応)



9:00 運転者自宅出る



9:10 事務所で運転日誌つける



9:30 レンタカーを借りる



10:00 利用者をお迎え



10:15 スーパー駐車場到着



11:15 1時間の買い物後車へ



11:30 利用者自宅へ戻る



11:45 運転者自宅へ(午後便まで)

## ■ 買い物車両 運転担当者の感想

- ・ 買い物支援は主として山間地域を中心としたが、山間地域は日没も早く買い物の希望が午前中を希望する地区が多い。
- ・ 週末子供たち家族が訪ねてくることも多く、買い物希望日が週の半ばに集中してくる。
- ・ 買い物先としてスーパーが中心となるが、現在各店サービスデーを設けているところが多く、主婦としては希望が集中する。
- ・ 高齢者の買い物で一番苦勞するのは買い物をした後で、重い荷物を家まで運ぶのが大変であり、自宅の前まで送り届ける必要がある。
- ・ ボランティアの人も時間を割いての協力であり、都合の悪い場合の対応もとってはいるものの、専属に対応する担当者のいない組織としては難しい面も感じる。
- ・ 支援車両の運行にあたり、天候(台風他)・地域の行事(祭り他)・事故等による交通規制など配慮すべきものが数多く出てくる。

## 4) 今後の課題

少子高齢化や核家族化など大きな問題としては捉えていたものの、日常生活において買い物難民など外出の支援を待ち望んでいる人達が多いことに気づかされました。高齢になると、バスなど公共の交通機関があるから良いのではなく、買い物荷物を持って帰宅するのが難しく、山間地域ではタクシー等の利用も金額がかかり過ぎます。

更に、パソコンなど電子機器を利用した宅配サービス利用なども高齢者にとってはすぐに馴染めるものではありません。

これらの事を考慮すると、高齢の方々が買い物支援バスの車中で、着飾って皆でワイワイ楽しそうにおしゃべりをしている姿を目の当たりにすると、このような外出支援の重要性を改めて認識させられました。

しかし一方で、支援をする運転ボランティアも高齢化が進み少子化で若い世代の参加が余り望めず、又、増々増加するであろう利用希望者の事を考えるに、5年先10年先の対応を今から考えて行く必要を感じます。更には、将来への事業継続を考えていくには、受益者負担の原則に沿って、ある程度の負担の下に将来の事業運営の計画を立てる必要を感じます。

丸子まちづくり協議会が始めた移動支援サービスに対して地域内外の反響は大きく、行政にも大きな決断を促す結果となりました。9月には、静岡市の交通政策課は交通弱者対策として、その地域内の運行に限定という条件付きの「交通弱者助成事業」のモデル地域として、丸子が選ばれ、丸子まちづくり協議会が今後2年間、運営を任されることになりました。年度中に試験運行が始まり、モデル事業は地域内でコースを決めて定期運行する必要があるため、WAMの運行地区とは別の地域で稼働をしました。

## 5. 外出支援サービス 事業説明会・講習会

以下の通り、事業説明会・講習会・事業報告会を開催しました。

### 1. 事業説明会

2016年7月13日 19:00~21:00 参加者 35名

(目的) 丸子まちづくり協議会役員及び運転担当者への事業説明  
(内容)

- ① 運転者の確保について ② 運行開始日時 ③ 運行規則・計画 ④ 会計処理方法

### 2. 研修会

2016年7月22日(金) 10:00~12:00 参加者 15名

(目的)

- ・ 連携団体である地域内の高齢者福祉施設、丸子まちづくり協議会役員、運転担当者などの事業の概要説明
- ・ 高齢者・障がい者対応について、専門家及び経験者からのアドバイス  
講師を派遣 講習 1時間程度

(内容)

- ① ボランティアとは(静岡市社会福祉協議会)
- ② 運転ボランティアの処遇と担当等(協議会専務理事)
- ③ 福祉車両の運転心得や車いすの操作方法等(丸子の里)
- ④ その他

2016年8月12日(金) 19:00~20:30 参加者 20名

(目的) 運転担当者との業務内容の確認

- ① 運行マニュアル等の確認 ② 担当日等の確認 ③ その他

その他、以下の研修を運転担当者の要望を受けて開催

- ① 福祉車両での車いすの扱い方実地研修 ② 買い物車両 運行行経路実地研修



### 3. 事業報告

2016年3月20日 丸子まちづくり協議会 運営委員会で事業報告

## 6. 福祉有償運送事業への課題

今年度は、地域から要望されていた課題に着手し、運営の経験を積むことができました。今後は検討会をしてきた地域内の福祉施設とも連携し、地域内で問題を解決していけるよう道筋を作ると共に、まだこのサービスの実施が十分に周知されていないので、利用者を増やしていけるよう努めたいと思っています。

今後、益々必要とされる事業だと痛感していますが、継続可能な活動にするためには、「福祉有償運送」業者の指定を受けることが何よりも必要と考えます。

福祉有償運送業者は、まずは非営利法人であること、更には、その地域での有償運送の必要性、組織体制の強化、運転者の講習、利用者から収受する対価の決定（営利に至らない範囲）、運送の区域など必要とされている要項を満たした上で、自治体が設置する「運営協議会」（静岡市・一般旅客自動車運送事業者およびその組織する団体バス会社、タクシー会社など）での協議と合意により決定されます。

そして、運営協議会へは、①市の担当窓口への説明と理解 ②制度を理解し、団体としての理念を示す ③運営協議会で審議される際必要となる情報や資料を完備する、などの対策が必要となっています。

今後も無償運送で実績を積み、有償へ向けて組織体制の完備、研究会や専門家からの指導などを受け、運営協議会への上程のための準備を進めてまいります。



発行日 2017年3月  
発行 特定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会  
〒420-0103 静岡市駿河区丸子 3-7-9  
☎ 054-259-2311 Fax 054-260-6467